

第2回円空大賞円空賞

小清水漸（こしみずすすむ）

プロフィール

- 1944年：愛媛県宇和島市に生まれる
1966年：多摩美術大学彫刻科入学（'71年除籍退学）
1967年：成田克彦と知り合い、グループ VOYANT に参加
1968年：このころ関根伸夫・吉田克朗等と知り合い、共に A ゼミ（横浜市富士見町アトリエ）で自主制作する
1969年：「第4回ジャパン・アート・フェスティバル」入選
1970年：このころから、B ゼミ（横浜市富士見町アトリエ）講師となる
1972年：「第3回神戸須磨離宮公園現代彫刻展—都市空間のなかに」宇部市野外彫刻美術館賞受賞
1974年：関西女子美術短期大学非常勤講師となる（翌年、常勤）
1980年：京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻専任講師となる
第11回中原悌二郎賞優秀賞受賞（旭川市／北海道）
1981年：第10回平櫛田中賞受賞（井原市／岡山）
1983年：「現代美術の新世代展—東海地区を中心とした—」（三重県立美術館）岡田文化財団賞受賞
1985年：京都市立芸術大学助教授となる
「第11回現代日本彫刻展—風土と彫刻」（宇部市常磐公園／山口）東京国立美術館賞受賞
1987年：「第12回現代日本彫刻展—太陽賛歌」（宇部市常磐公園／山口）毎日新聞社賞受賞
1988年：第38回芸術選奨文部大臣新人賞受賞（文部省）
1989年：第2回京都美術文化賞受賞
1993年：第18回吉田五十八賞受賞（内藤廣氏と共同受賞・海の博物館における建築関連美術で受賞）
1994年：「第14回神戸須磨離宮公園現代彫刻展—燦・SUN・讃」埼玉県立近代美術館賞受賞
京都市立芸術大学教授となる
1999年：京都府文化賞功労賞受賞（京都府）

受賞理由

小清水漸氏は、木を基本としてそれに水や石や陶器を加えた作品で、見る人を魅了する。「作業台シリーズ」というのが氏の近年のテーマであるが、何でもない作業台の上になんかいろいろなものが載っている。それはあるいは木の切れ端であり、あるいは陶器であり、あるいは石でもある。そしてそれによって日常的な作業台の上になんか不思議な非日常的世界が現出するのである。

そこにはシュールレアリズムの詩のようなものが漂っている。



「作業台-新月のアルテミス-」
撮影／和田正成



「作業台-露地-」



「結紐文大皿レリーフ」